



# 尾崎 大介

東京都議会議員  
[北多摩3区(調布市・狛江市)]

●プロフィール●

昭和49年生まれ。日本大学農獣医学部卒。衆議院議員公設第一秘書を経て、平成17年に北多摩第三選挙区(調布市・狛江市)より都議選に初当選。現在5期目。財政委員会副委員長、都市整備委員会委員長、環境・建設委員会理事、警察・消防委員会副委員長、第48代都議会議長などを歴任。

## 高校授業料実質無償化へ 大きく前進!



都民ファーストの会東京都議団は、これまで小池百合子知事に対して子どもたちの学びの環境整備に関して要望をしてまいりました。物価高騰が都民生活に甚大な影響を及ぼし、とりわけ子育て世代においては、教育などへの支出負担がこれまで以上に重くのしかかっており、未来への投資という観点からも看過できない状況にあります。

こうした観点から授業料に係る支援の充実は本来、国の責任において実施されるべきものであります。実現されるまでの間都として、都立高校をはじめ私立高校や都立大学における授業料支援の所得制限撤廃に向けた対策を講じる事を要望致しました。これからの令和6年の予算議会での議論を経て、実現に向けて大きく前進していくよう頑張ってまいります。



## 100歳時代 シニアの方が、元気に生きがいを持って長生きできるよう取り組みを強化します

### 補聴器への購入費助成を 求めていきます

### ヒアリングフレイル対策

※「ヒアリングフレイル」:聴覚機能の低下から来る、心身の衰え耳の聞こえにくさは、65歳以上の約半数の方に問題があると言われています。これは生活に支障があるだけでなく、健康の維持に影響する課題です。

- 耳が聞こえにくいで、
- 人とのつながりが減少する
- 会話や外出が減ることで、認知症や心身の虚弱(フレイル)につながる

→認知症対策の観点からも、補聴器の購入費を助成するなど、対策の強化を求めていきます。



### シニア向けの口腔ケアと 食育を組み合わせ

### オーラルフレイル対策

※「オーラルフレイル」:口腔機能の低下から来る、心身の衰え十分な栄養摂取も高齢の方の健康維持に重要です。歯が健康で、お肉なども含めしっかりと栄養を取る必要があります。

- 栄養摂取が足りないと、
- 筋力や骨が衰えて、転倒や骨折などにつながる
- ものを噛み飲み込む機能がさらに低下していく

→栄養摂取についての正しい知識の普及と、歯の健診・口腔ケアを併せて取り組みます  
→具体的には、定期健診と栄養指導の一体的な実施を歯科医師等と連携して推進します。

# シルバー人材センターの機能を強化します！

会社の定年を迎えた後も、様々な仕事に取り組む力のある高齢者が増えています。シルバー人材センターにおいて、単に負担が少ない仕事だけではなく知識や技能をつかった仕事も対応できるようにすることで、その人その人にあったやりがいのある取り組みを支えます。

- 東京しごと財団と連携し、子育てや見守りなどの新たな仕事を掘り起こす
- 新しい仕事との確な働き手を速やかにマッチングする仕組みをつくる
- シルバー人材センターの新たなイメージを確立する



## 国制度のゆがみについても問題提起し、都政から改革を牽引します

国制度の  
問題点

### インボイス制度導入への懸念

- 「インボイス制度」が10月1日から導入される。制度導入に伴い、免税を選んだ場合、取引の打切りや受取代金の減少に繋がる懸念があり、課税事業者になると納税の業務を担わざるを得ない。
- 中小零細企業やフリーランスに大きな影響があるが、特に大半のフリーランスは、制度開始に不安を抱き、約2割は仕組みがよくわからないためにインボイス登録をしていないとの調査結果もある。

代表質問 都民ファーストの会東京都議団 森村隆行団長

10月に導入される国のインボイス制度について、本来、国で対策すべきだが、制度開始後、より大きな混乱が想定される。

東京都として、都内の中小零細企業やフリーランスがインボイス制度への確に対応できるよう、丁寧かつ踏み込んだ支援を行い、不安払しょくに全力を尽くすべき、知事の見解を伺う。



知事答弁 小池百合子 東京都知事

インボイス制度の開始に伴い、中小企業等への後押しは不可欠。  
相談体制の大幅な拡充を図り、現場で専門家が助言する新たな仕組みも導入する。また、芸術文化の分野においても、芸術文化相談サポートセンターで相談を受け付け、適切な支援を進める。  
さらに、適正な取引を確保するため、中小企業に発注を行う大企業等に対し、法令に詳しい実務家が巡回して働きかけを行う。



## より科学的なフレイル対策を進めます

心身の状態を自動で計測できる「スマートウォッチ」等の機器を着用いただき、高齢者の健康づくりに活用していく取り組みを一昨年から開始しました。健康長寿医療センターの患者の皆さんにも、この機器を使用いただくなどご協力いただき、検証することで、より効果の高いフレイル対策につなげています。



■都政・都議会についてのご意見・ご要望をお聞かせください。

**尾崎 大介事務所**

都政相談  
実施中!

〒182-0007 東京都調布市菊野台1-20-1-305

TEL/FAX : 042-498-8030

E-mail

8341daisukeozaki@gmail.com